

市町村名		名護市				
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	やがじ夢の懸け橋事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第5章-3-(1)-イ 圏域の特色を生かした産業の振興	
担当部署名	地域経済部	屋我地支所	事業実施 年度	平成 27	平成 29	年度 III-1-(1)
事業内容	屋我地地域において、地域観光産業の振興や定住促進を図るため、同地域におけるツーリズムに関する地域振興計画を策定するとともに、民泊事業者と連携したモニターツアー、ワークショップ等を実施する。					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		27年度	28年度	29年度		合計
	A. 予算現額	4,200	4,774	6,480		15,454
	B. 執行済額	4,177	4,754	6,447		15,378
	うち 交付金充当額	3,341	3,803	5,158		12,302
	執行率(%) (B/A)	99.5%	99.6%	99.5%	#DIV/0!	99.5%
執行状況の説明	執行率が各年度とも99%以上となっており、適正に執行できた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
			27年度	28年度	29年度	
	モニターツアーの実施	目標	実施	2回	1回	
		実績	実施	1回	1回	
	ワークショップ実施	目標	3回	4回	4回	
		実績	4回	3回	2回	
振興計画の着手	目標			実施		
	実績			実施		
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	
	モニターツアーの参加者(旅行者等)	目標	5社	30名	16名	
		実績	7社	11名	7名	
	ワークショップの参加者	目標	90名	60名	60名	
		実績	45名	45名	59名	
振興計画の策定完了	目標			1件		
	実績			1件		

事業完了後の取り組み

事業完了後の取り組み	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R3年度 目標/発現年度
		修学旅行受入校数	目標	—	—	140校	
	実績	83校	82校	0校			
事業完了後の成果目標	目標						
	実績						
状況説明	<p>【H30年度】 ・修学旅行生の民泊受入については一定の受入数はあるが、修学旅行等の誘致を拡大できるプログラムが少なく、目標達成には至っていない。</p> <p>【R元年度】 ・修学旅行受入数については、H30:16,612名からR元:17,605名と増えているが、受入校数は1校減となっている。</p> <p>【R2年度】 ・新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言及びまん延防止措置の影響により、R2年度全ての予約(下期66校11,344名)がキャンセルとなり実績0校であった。</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【H30年度】 ・本事業で策定した振興計画に基づき、魅力的な体験プログラムを開発することで、継続的に修学旅行の誘致を図っていくため、地域資源を活用した体験施設整備を進めることに繋がった。</p> <p>【R元年度】 ・農業体験施設が稼働し、修学旅行の誘致と並行して地元客の集客も図る必要があり、受入体制や宣伝活動に課題がある。</p> <p>【R2年度】 ・修学旅行の誘致と並行して日帰り客や地元客の集客も図る必要があり、受入体制や宣伝活動に課題がある。</p>			<p>【H30年度】 ・民泊事業者との連携を図りながら、地域における観光メニューの企画、実施や、整備を進めている体験施設を有効に活用できる団体等の体制の確立が必要である。</p> <p>【R元年度】 ・修学旅行の受入窓口が既存1社のみで、他社との連携も必要となっている。今後は地元客も顧客獲得を進める必要がある。</p> <p>【R2年度】 ・羽地ネットワークや名護市観光協会と連携を図る必要がある。</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【H30年度】 ・体験施設整備を進め、地域における魅力ある共通体験プログラムとして確立を図り、修学旅行生等の誘致を図る。 ・施設整備後については、民泊事業者との連携を図りながら、施設を有効に活用し運営できる団体等へ指定管理を行う。</p> <p>【R元年度】 ・農業体験施設が稼働し、受入体制や宣伝活動を強化するとともに地元客の集客も図る必要がある。利用者からの要望を元に体験メニューの更新を行う。</p> <p>【R2年度】 ・民泊取り扱い窓口である羽地ネットワークや市内ホテル等が加盟する名護市観光協会と連携しながら集客を進める必要がある。具体的には羽地ネットワーク作成のポスター・チラシへの記載を通してPR活動を行うことや、観光協会と連携し名桜大学生等若者にモニター体験を実施しその体験談を基にしたプログラム作成を行い、県外プロモーションを展開することで修学旅行生等の誘致を図る。</p>							

市町村名						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	名護市食鳥処理施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ウ 農林水産物の安全・安心の確立	
担当部課名	農林水産部	園芸畜産課	事業実施 年度	平成 28 ~ 平成 28 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	新たな食鳥処理施設の整備に必要な用地を取得することによる事業環境の整備を通じ、食鳥処理施設の再編や県内鶏肉の衛生・品質管理の高度化を促進する。					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H28年度				合計
	A. 予算現額	328,663	-	-	-	328,663
	B. 執行済額	277,836	-	-	-	277,836
	うち 交付金充当額	222,269	-	-	-	222,269
	執行率(%) (B/A)	84.5%	-	-	-	84.5%
執行状況の説明	農業振興地域計画の総合見直しに異議申し立てがあり、当該用地取得に必要な農地転用手続きに不測の日数を要したことから328,024千円を平成29年度へ繰越して実施した。 公有財産取得費において、実施設計により建物配置等が精査されたことから用地面積が17,668㎡から16,658㎡へ縮小されたこと、土地鑑定により、土地単価が概算値より減額となったため、40,661千円の不用額が生じた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
	施設整備に必要な用地購入	目標	H28年度			
		実績	施設整備に必要な用地購入			
		目標				
		実績				
		目標				
実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
	施設整備に必要な用地取得の完了 購入面積:17,668㎡	目標	H28年度	完了		
		実績	完了			
		目標				
		実績				
		目標				
実績						

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	処理羽数(食鳥処理施設)	目標	15,000羽/日	15,500羽/日	16,000羽/日	16,500羽/日
	実績	13,503羽/日	13,926羽/日			
	目標					
	実績					

状況説明

【H30年度】
・平成30年度は建築工事等を行っていたため、処理羽数は計測していない、令和元年7月から供用開始しているため令和元年の目標値は15,000羽/日とした。

【R1年度】
・食鳥処理施設の処理羽数は13,503羽/日となり目標を下回っている。(達成率90%)

【R2年度】
・食鳥処理施設の処理羽数は13,926羽/日となり昨年より423羽/日増加したが、目標を下回っている(達成率90%)

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
<p>【H30年度】 ・施設整備事業の完了予定であったが、台風や県内の慢性的な職人不足の影響等により平成31年度へ繰越となり、令和元年7月より供用開始となっている。今後は協業化に伴う効率化、最新機器による処理・加工により衛生的で安全な県産鶏肉の処理羽数増加に期待できる。</p> <p>【H31年度】 ・食鳥処理施設の処理羽数が下回っていることについて、供用開始後の機器調整に時間を要したことにより、処理羽数が少なくなったことが大きな要因と考えられる。 今後は順調に処理羽数が伸びることが想定される。</p> <p>【R2年度】 ・夏場から秋口にかけて、暑熱による死鶏が多くなっていること。また、台風等により卵の入荷ができなかったことが処理羽数に影響している。</p>	<p>【H30年度】 ・R1年7月供用開始。今後は施設の指定管理者や関係機関と協力し成果目標達成に努める。</p> <p>【R1年度】 ・随時状況を確認し、目標達成に係る課題の抽出、必要な支援を行う必要がある。</p> <p>【R2年度】 ・随時状況を確認し、目標達成に係る課題の抽出、増羽及び暑熱対策を含め必要な支援を行っていく。</p>

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【H30年度】
・定期的な施設利用状況の確認や収支決算書等の確認を行い、関係機関と協力しながら成果目標達成に努める。

【R1年度】
・毎月の稼働状況報告の確認、必要に応じてヒアリング等を実施し、目標達成に係る課題の抽出、必要な支援を行う。

【R2年度】
・毎月の稼働状況報告の確認、必要に応じてヒアリング等を実施し、目標達成に係る課題の抽出、増羽及び暑熱等を含め必要な支援を行う。
・食鳥処理施設における事故率を下げるための取組や衛生管理の徹底や品質向上、職員の技術向上等に向けた取組の検討、処理羽数の増加に向けた暑熱対策による死亡鶏の減少対策や既存の鶏舎改修及び新規鶏舎の整備に向けた補助メニューの検討を行う。

市町村名		名護市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	名護市産業支援センター機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3-3-(9)-ア ものづくり産業の戦略的展開		
担当部課名	地域経済部	商工・企業誘致課	事業実施 年度	平成 30	令和 1	年度 III-1-(1)	
事業内容	雇用の創出を図るため、名護市産業支援センター(5階フロア)にオフィス、会議室、トイレ等を整備する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	R1年度	R2年度	○年度	合計	
	A. 予算現額	11,536	146,443	0		157,979	
	B. 執行済額	6,145	144,425	0		150,570	
	うち 交付金充当額	4,916	115,540	0		120,456	
	執行率(%) (B/A)	53.3%	98.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	95.3%	
執行状況の説明	H30年度は「建築設計業務棟積算基準(沖縄県土木建築部)」に基づき、改修後の図面作成に係る複雑度の低いAとして設計を見直したため、5,391千円が不要となった。R1年度に146,443千円の交付決定を受けたが、入札不調により事業を遂行することができなかったため、119,328千円をR2年度に繰越した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	○年度
	機能強化工事の完了	目標	実施設計	機能強化工事	供用開始		
		実績	実施設計		機能強化工事		
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	○年度
	機能強化事業の完了	目標	実施設計	機能強化工事	供用開始		
		実績	実施設計		機能強化工事		
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R2年度	R3年度	○年度	○年度	R2年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	名護市産業支援センター5階フロアの雇用者数	目標	28名			
		実績	0名			
		目標				
		実績				

状況説明	【R2年度】 ・R1年度は入札不調により機能強化工事を完了することができず、供用開始が1年遅れたため目標を達成することができなかった。
	【 年度】
	【 年度】

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【R2年度】 ・R1年度は入札不調により機能強化工事を完了することができず、供用開始が1年遅れたため目標を達成することができなかったが、今後商工会、観光協会及び関係機関と協力しながら、進出希望企業の入居につなげていく。</p> <p>【 年度】</p> <p>【 年度】</p>	<p>【R2年度】 ・R1年度は入札不調により機能強化工事を完了することができず、供用開始が1年遅れたため目標を達成することができなかったが、今後商工会、観光協会及び関係機関と協力しながら、進出希望企業の入居につなげていく。</p> <p>【 年度】</p> <p>【 年度】</p>
--	--

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【R2年度】 ・R1年度は入札不調により機能強化工事を完了することができず、供用開始が1年遅れたため目標を達成することができなかったが、今後商工会、観光協会、NDA及び沖縄県東京事務所や大阪事務所とも協力しながら、企業誘致セミナー等での施設紹介を積極的に行い、進出希望企業の入居につなげていく。</p> <p>【 年度】</p> <p>【 年度】</p>
--

市町村名	名護市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	自転車まちづくり普及事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(7)-ウ 人に優しい交通手段の確保		
担当部課名	地域経済部	観光課	事業実施 年度	令和 元	～ 令和 3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	健康増進や環境にやさしい交通手段として自転車を市民等に広く普及させ自転車愛好家等を増やすため、サイクルツーリズムを推進する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		R1年度	○年度	○年度	○年度	合計	
	A. 予算現額	3,356				3,356	
	B. 執行済額	2,838				2,838	
	うち 交付金充当額	2,270				2,270	
	執行率(%) (B/A)	84.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	84.6%	
執行状況の説明	計画していた内容は全て実施した。不用額は、マップ作成業務委託の入札残によるものである。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	○年度	○年度	○年度	○年度
	自転車普及イベントの開催	目標	3回				
		実績	3回				
	多言語サイクリングMAP作成	目標	4言語				
		実績	2言語				
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			R1年度	○年度	○年度	○年度	○年度
	イベント参加者数	目標	72名				
		実績	49名				
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
			R2年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	【R2成果目標】 ①市HP(自転車普及イベント、多言語サイクリングマップ)へのアクセス数:5,000回	目標	5,000回				
		実績	332回				
	【R2成果目標】 ②HPでアンケートを実施し、利便性(満足度)が確保されたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証を行う。	目標	80%				
		実績	66%				
状況説明	<p>【R2年度】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者の安全面を考慮し、普及イベントを中止とした。多言語サイクリングマップについては市HPに掲載したが、市内イベントの中止等、マップのPRの場の不足もあり、目標のアクセス数を下回っている。 ・市HP上で利便性(満足度)が確保されたかを含め、アンケートを実施した。集計した結果、66.6%の満足したとの回答が得られた。</p> <p>【 年度】</p> <p>【 年度】</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【R2年度】 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響によるイベントの中止等、多言語サイクリングマップのPRの場の不足もあり、目標を達成することができなかったが、今後、市HPの更新及びSNS等を活用し、より多くの方に多言語サイクリングマップのPRを実施し、自転車まちづくりの推進につなげる。</p> <p>【 年度】</p>			<p>【R2年度】 ・健康や環境に優しいモビリティとして自転車を市民の移動手段として広く普及させることにより、自動車の依存度を改善し市民生活の向上を図る必要がある。</p> <p>【 年度】</p> <p>【 年度】</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【R2年度】 ・自転車普及イベントの開催場所、開催時期等を考慮し、自転車に関心のない人も含め、多くの人に自転車に触れる機会を創出し、自転車イベントの参加並びに自転車の利用促進につなげる。</p> <p>【 年度】</p> <p>【 年度】</p>							

市町村名	名護市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	21世紀の森公園機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-(イ) 「スポーツアイランド沖縄」の形成		
担当部課名	建設部維持課	地域経済部観光課	事業実施 年度	令和 元 年 ~ 令和 元 年 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	III-1-(1)	
事業内容	キャンプの誘致及び市民の健康増進を図るため、また、観光客の利便性(満足度)を確保するため、新名護市営球場において、トレーニング器具整備や、レリーフ設置等を実施し満足度向上に向けた各種整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		R1年度	○年度	○年度	○年度	合計	
	A. 予算現額	87,484				87,484	
	B. 執行済額	87,484				87,484	
	うち 交付金充当額	69,987				69,987	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
執行状況の説明	執行率は100%となり、計画的に執行できた。。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	○年度	○年度	○年度	
	名護市営球場の備品調達完了と施設の供用開始	目標	調達完了、 供用開始				
		実績	調達完了、 供用開始				
	レリーフ等のコンセプトとりまとめ、デザイン選定、製作、設置の実施	目標	実施				
		実績	実施				
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			R1年度	○年度	○年度	○年度	
	トレーニング器具等の整備	目標	整備完了				
		実績	整備完了				
	レリーフ等の整備完了	目標	整備完了				
		実績	整備完了				
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R1年度	○年度	○年度	○年度	R2年度 目標/発現年度
	①トレーニングルーム利用者数		目標				4,900人
		実績				6,754人	
②観光客等へのアンケートで、レリーフ等の整備により、利便性、満足度が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。		目標				80%以上	
		実績				未実施	
状況説明	<p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の運営時間短縮や利用休止が度々あったが、目標の利用者数を大きく超える6,754人が利用した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により沖縄県緊急事態宣言が発令され、プロ野球キャンプは無観客開催で実施されることになったため、観光客等へアンケートを実施することができなかった。 <p>【 年度】</p> <p>【 年度】</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング機器の利用を目的とした来場者が増加している。 ・県内プロ野球キャンプの発祥地と知られる名護市営球場とキャンプの歴史を伝えるレリーフを整備したことにより、賑わいを創出するとともに球場を訪れる来訪者の満足度の向上が期待される。 <p>【 年度】</p>			<p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ競技者、またその関係者、市民が実際に当施設を利用して頂くことで事業目的又は目標を達成されるものと考えているので、利用者の増加につなげたい。 ・市営球場を訪れる観光客、利用者に「キャンプの発祥地」としての情報を発信、スポーツキャンプ地としての知名度向上を図り、さらなるキャンプ、合宿等の誘致に努める必要がある。 <p>【 年度】</p>				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【R1年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営球場を訪れる観光客、利用者に「キャンプの発祥地」としての情報を発信し、球場を訪れる来訪者の満足向上を図る。 <p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を図り、利用者が安全・安心して利用できる施設運営を図る。 ・レリーフの一部デザインを必要に応じて更新することで球場を訪れる利用者の満足度を維持し、スポーツキャンプ地としての知名度向上を図り、さらなるキャンプ、合宿等の誘致につなげる。 							

市町村名		名護市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	第2次名護市観光振興計画策定事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第5章-3-(1)-イ 圏域の特色を生かした産業の振興	
担当部課名	地域経済部	観光課	事業実施 年度	平成 30	～ 令和 元	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	観光誘客を図るため、第2次観光振興計画を策定する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H30年度	R1年度	○年度	○年度	合計	
	A. 予算現額	9,861	9,515			19,376	
	B. 執行済額	9,763	9,515			19,278	
	うち 交付金充当額	7,810	7,612			15,422	
	執行率(%) (B/A)	99.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	99.5%	
執行状況の説明	・H25の執行率は99.0%、R1の執行率は100.0%、最終的には99.5%となり、計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	○年度	○年度	○年度
	第2次観光振興基本計画の策定	目標	第1次観光振興基本計画の評価・検証	第2次観光振興基本計画の策定			
		実績	第1次観光振興基本計画の評価・検証	第2次観光振興基本計画の策定			
	評価検証が行える体制の構築	目標	観光施策の成果指標策定	評価検証が行える体制の構築			
		実績	観光施策の成果指標提案	評価検証が行える体制構築の検討			
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	○年度	○年度
	・第2次観光振興基本計画の策定完了 評価検証が行える体制の構築完了	目標	基本計画の検証及び成果指標の完了	策定完了及び体制の構築完了			
		実績	基本計画の検証完了及び成果指標の提案完了	策定完了及び体制の構築未完了			
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み						
成果目標(指標)	達成/進捗状況					
		R2年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標 <input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果	策定した計画について、名護市観光振興基本計画懇話会で観光施策の進捗管理や見直しを行うことで(年2回以上)、観光施策の在り方を検証する。	目標	懇話会の開催(2回)			
		実績	懇話会の開催(1回)			
		目標				
		実績				
状況説明	【R2年度】 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、名護市観光振興基本計画懇話会の開催回数は1回となり、目標を下回っている。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
【R2年度】 ・学識経験を有する者や観光に見識を有する者、地元住民代表で構成された名護市観光振興基本計画懇話会を立ち上げ、年度内で1回の懇話会を開催した。また、懇話会委員を対象に2回のアンケート調査を実施し、本市の観光振興に関する意見を聴取した。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・			【R2年度】 ・第2次名護市観光振興基本計画の作成時は、沖縄県内の観光業は右肩上がりでも今後もそのまま推移すると予想されていた。しかし、今般の新型コロナウイルス感染症の影響を受け観光のあり方に変化が生じている。今後は、名護市観光振興基本計画懇話会等で、新型コロナウイルス感染症を踏まえた観光振興を検討する必要がある。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
【R2年度】 ・新型コロナウイルス感染症を踏まえた観光振興を推進してため、引き続き名護市観光振興基本計画懇話会を実施し、委員から聴取した意見を取りまとめ、市の観光施策として取り組んでいく。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・						

市町村名		名護市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	名護市特産品開発等支援事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3-3-(9)-イ 県産品の販路拡大と地域ブランドの形成		
担当部署名	地域経済部	商工・企業誘致課	事業実施年度	平成29 ~ 令和1年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(4)	
事業内容	地域事業者の商品開発・流通等の基礎力向上を図るため、ワークショップ研修、個別支援、テストマーケティング等を実施し、地場産業の育成と地域の活性化を図っていく。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	9,000	9,000	12,861		30,861	
	B. 執行済額	8,980	8,966	12,861		30,807	
	うち 交付金充当額	7,184	7,173	10,289		24,646	
	執行率(%) (B/A)	99.8%	99.6%	100.0%	#DIV/0!	99.8%	
執行状況の説明	当初予算どおり、販路拡大に向けた商品開発等の基礎力向上に関する支援を実施した。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であった。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	○年度	○年度
	ワークショップの開催	目標	5回	5回	5回		
		実績	5回	5回	5回		
	外部評価のためのパイヤー招聘	目標	2回	2回	2回		
		実績	3回	2回	4回		
個別支援	目標	3社	3社	3社			
	実績	3社	3社	5社			
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	○年度	○年度
	ワークショップ研修参加者へのアンケート調査による検証	目標		80%以上	80%		
		実績		84%	78.4%		
	商談成約件数	目標			2件		
		実績			7件		
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
			R2年度	○年度	○年度	○年度	R2年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	令和元年度に開発した商品の販路拡大支援	目標	2商品				2商品
		実績	2商品				2商品
	目標						
	実績						

状況説明	【R2年度】 ・令和元年度に開発した2商品(マーコットジュース(安部農園)、藍樹シリーズ(ムネ木工所))について、販売支援を継続。
	【 年度】 ・
	【 年度】 ・

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【 R2年度】 ・マーコットジュースについてはR2.12にプラザハウスでの試飲販売会を実施。 ・AIJUシリーズについては自社ECサイトにて販売を行っている。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>	<p>【R2年度】 ・販路拡大および物産展等での販売支援を継続して行う。</p> <p>【 年度】</p> <p>【 年度】</p>
--	--

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【R2年度】 ・コロナウィルス感染症の影響により物産展等が開催できず、県外への販路についてはほとんどなかったが、ECサイトでの販売など、時代に見合った販売システムの構築を行う。</p> <p>【 年度】</p> <p>【 年度】</p>

市町村名	名護市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	観光地周辺環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備		
担当部課名	地域経済部	観光課	事業実施 年度	平成 29	~ 平成 29	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	市内観光地であり、国指定天然記念物となっている「嘉陽層の褶曲」に公衆トイレを整備し、観光客の利便性と満足度を高める。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H29年度	○年度	○年度	○年度	合計	
	A. 予算現額	19,929				19,929	
	B. 執行済額	19,854				19,854	
	うち 交付金充当額	15,883				15,883	
	執行率(%) (B/A)	99.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99.6%	
執行状況の説明	<p>・平成29年度に設置場所の再検討の要請があり、区との調整に不測の日数を要したこと、また、工事の入札不調により平成30年度に繰越して実施した。 ・最終的な執行率は99.6%となり、概ね計画的に執行できた。</p>						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	○年度	○年度	○年度	
	公衆トイレ設置工事(1棟)	目標	設置工事				
		実績	設置工事				
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H29年度	○年度	○年度	○年度	
	公衆トイレ設置工事(1棟)	目標	工事完了				
		実績	工事完了				
		目標					
		実績					

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	○年度	○年度 目標/発現年度
		市内観光施設入込客数(暦年)	目標		—	5,501千人	
	実績	5,126千人	4,935千人	2,347千人			
	目標						
	実績						

状況説明	<p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内観光施設入込客数は5,126千人となり、達成状況は順調である。
	<p>【R1年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内観光施設入込客数は4,935千人となり、平成30年より191千人減少する結果となった。
	<p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、市内観光施設入込客数2,347千人となり、目標及び昨年度の実績を大きく下回った。

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 沖縄県への入域観光客が順調に推移していることもあり、市内観光施設入込客数も順調である。今後、当該施設の更なる活用促進が期待できる。 <p>【R1年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「嘉陽層の褶曲」を活用した民間団体による学習プログラムなどが実施されており、当施設があることにより、来訪者の利便性向上に繋がっている。一方、名護市全体の観光入込客数自体が、平成30年から令和元年より198千人減少していることもあり、市内観光施設入込客数も減少する結果となった。滞在型観光地として認知していただく取り組みを検討する必要がある。 <p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光入込客数及び市内観光施設入込客数が大幅に減少する結果となった。コロナ禍での対応や取り組みを検討する必要がある。 	<p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国指定天然記念物となっている「嘉陽層の褶曲」の環境整備が整ったことから、市内観光地として積極的に広報活動を行っていく必要がある。 <p>【R1年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「嘉陽層の褶曲」について、県外高校生などの教育旅行の学習プログラムとしても活用してもらえよう働きかける。 <p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 沖縄北部が世界自然遺産として登録された場合には、多くの観光客が訪れることが予想できることから、国指定天然記念物となっている「嘉陽層の褶曲」も積極的に広報活動を行っていく必要がある。
--	---

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国指定天然記念物となっている「嘉陽層の褶曲」の環境整備が整ったことから、観光パンフレット、従来の観光案内マップなどで、市内観光地として積極的に広報活動に取り組み、市内観光促進につなげる。 <p>【R1年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「嘉陽層の褶曲」について、教育旅行の学習プログラムとしての活用を検討いただくため、教育旅行関係者への周知を行う。 <p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界自然遺産の取組と併せて「嘉陽層の褶曲」の情報について、観光案内所などで広報活動に取り組み、市内観光促進につなげる。

市町村名	名護市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	名護市工場適地等構想地調査事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-ア 雇用機会の創出・拡大と求職者支援	
担当部課名	地域経済部	商工・企業誘致課	事業実施 年度	令和 元 年度	令和 元 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-2
事業内容	工場適地を確保するための手段・方向性を決定するため、市内において、工場適地等構想の調査を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		令和元年度	○年度	○年度	○年度	合計	
	A. 予算現額	8,250				8,250	
	B. 執行済額	8,250				8,250	
	うち 交付金充当額	6,600				6,600	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
執行状況の説明	事業計画どおり執行した						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	○年度	○年度	○年度	
	工場適地等構想地の調査 1.名護市における工場立地環境の現状 2.工場立地に関する社会的背景と動向、ニーズ調査 3.工場立地に求められる条件整理 4..土地利用方針の検討 5.名護市における工場適地候補地の抽出 6.開発手法の検討、概算工事費の算出 7.工場適地候補地の評価 8.工場立地促進方策と課題 9.検討委員会の運営	目標	調査完了				
		実績	調査完了				
		目標					
		実績					
		目標					
実績							
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			R1年度	○年度	○年度	○年度	
	新たな工場適地指定に向けた調査報告書の 策定完了(=方向性の決定)	目標	策定				
		実績	策定				
		目標					
		実績					
		目標					
実績							

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)		達成/進捗状況					
		○年度	○年度	○年度	○年度	R3年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果	目標					1地域
	【R3成果目標】 工場適地の指定	実績					
		目標					
		実績					
状況説明	【R2年度】 ・名護市内への工場等の立地を希望する企業に効率的な工場立地を促すため、北部地区宅地建物取引業者会と不動産情報を共有する協定を結び、引き続き連携をとっていく体制を整えた。新型コロナウイルス感染症の影響で企業の動向を把握することが厳しい状況であったため、新たな工場適地の指定に向けた方向性の検討が困難だった。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R2年度】 ・調査報告書にて、候補地となった地区内において、R3年度中に竣工予定の新たな工場進出があった。今後の工場誘致の取組を行う上で、参考とした。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・			【R2年度】 ・工場進出の契機となるよう、新たな工場適地の指定に向けた方向性を検討し、各関係機関との調整を継続して行う必要がある。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R2年度】 ・国・県との工場用地の情報収集・共有を図り、県内に進出を希望する企業へのニーズ対応に向けた計画的な企業誘致インフラ整備を図り、新たな工場の立地に繋げていく。また、協定を結んだ北部地区宅地建物取引業者会と連携を図り、工場等の立地を希望する企業が進出しやすい情報提供を行っていく。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・							